

<令和5年6月定例記者会見>

1 開催日時

令和5年6月5日（月）午前10時から10時20分まで

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、盛岡タイムス社、岩手日報社

4 発表事項

(1) 令和5年度チャグチャグ馬コ行事について（経済産業部観光物産課）

本年度のチャグチャグ馬コ大行進を6月10日（土）に開催いたします。

出馬頭数は59頭を予定しており、チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部からは装束馬38頭（昨年は31頭）が参加の予定です。鬼越蒼前神社を9時30分に出発し、盛岡八幡宮を目指します。

今年、ニューヨーク・タイムズ紙による「2023年に行くべき52カ所」に盛岡市が選ばれました。この地域の文化が高く評価されたものと理解しており、多くの注目を集めていることに高く期待しております。

チャグチャグ馬コには、愛馬の無病息災を願う人々の祈りが込められています。現代の街並みと歴史ある馬事文化・愛馬精神が融合する「チャグチャグ馬コ」を、ぜひ多くの方々に見ていただければと思います。

なお、チャグチャグ馬コ大行進を盛り上げるため、滝沢市観光物産協会の主催において、前日の6月9日（金）にはチャグチャグ馬コ写真撮影会が、当日にはビッグルーフ滝沢にてふれあいまつりが開催されます。詳細については、別紙のとおりです。

また、市有馬「滝姫」が5月22日に第7子を出産いたしました。

母子ともに健康であり、チャグチャグ馬コ行進馬の増頭にもつながるものと大変うれしく感じております。チャグチャグ馬コ当日は、「滝姫」とともに市内で係留される予定です。

この仔馬の今後の活用については、チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部と相談しながら検討してまいります。

(2) ビッグルーフ滝沢、屋外複合遊具お披露目式について（市民環境部地域づくり推進課）

ビッグルーフ滝沢においては、令和4年度より新しい指定管理者である「まるっと滝沢プロジェクト」による管理運営が行われております。

この度、指定管理者の自主事業の一環としてビッグルーフ滝沢に屋外複合遊具が設置されることとなりました。

この遊具のデザインはチャグチャグ馬コがモチーフとなっており、滝沢らしさの演出にも一役かっただけのものとなります。そして、きたる6月10日の馬コ行進行事のPRにも繋げていきます。

そこで設置に伴い、この定例記者会見後、11時にビッグルーフ滝沢にてお披露目式が開催されることとなります。是非取材方、お願いいたします。

(3) 令和5年度岩手山山開きについて（経済産業部観光物産課）

岩手山山開きを、7月1日（土）に、岩手山の麓に位置する三市町の滝沢市、八幡平市、雫石町で合同開催いたします。岩手山山開きは、登山者と岩手山の一年の安全祈願、そして、三市町の友情交流を目的に合同開催するものです。

当日は朝6時から、本市の馬返し登山口をはじめ、八幡平市の焼走り登山口、雫石町の御神坂（おみさか）登山口にて同時に安全祈願を行い、それぞれのコースを登山します。

その後、正午から三市町が一堂に会して山頂にてピッケル交換を行う予定です。皆様ぜひ、滝沢市の馬返し登山口までお越しください。今年もたくさんの方々のご参加をお待ちしております。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：山開きのピッケル交換は4年ぶりですか。

観光物産課長：昨年も実施しています。

記者：山開きについて、例年と違う、何か新しい取り組みや要素はありますか。

観光物産課長：これまでコロナ禍で中止となっていた、登山終了後の友情交歓会（青少年交流の家）を4年ぶりに開催します。開始は17時半からです。

記者：関係者の懇親会のようなイメージですか。

観光物産課長：その通りです。

記者：ビッグルーフの遊具設置について、設置に至った経緯を教えてください。

市民環境部長：ビッグルーフの指定管理者（令和5年度から2期目）から、複合遊具の設置に係る構想について当初から提案をいただいていた。それについて、「滝沢らしさ」も踏まえ、今回馬コをモチーフにしたデザインで実現に至ったものです。

記者：チャグチャグ馬コふれあいまつりは、毎年開催されているものですか。

観光物産課長：そうです。

記者：今年で何回目の開催ですか。

観光物産課長：後ほど回答いたします。（終了後回答。本年度で4回目の開催。）

副市長：今年は久々に地元自治会にも入っていただき一緒に盛り上げていきます。従来は、地域のお祭りとして、前の週に地元自治会が滝沢ニュータウンのメインストリートでお祭りをしていました。今回のふれあいまつりは観光物産協会と、鶺鴒地区の自治会の皆さんにも参加していただきながら、地域でも一緒に盛り上げていくことを予定しています。

記者：毎年実施とおっしゃっていましたが、コロナ禍は中止していたのですか。

副市長：イベント自体は実施していましたが、地域の自治会にも参加していただくという意味では久しぶりとなっています。

記者：登山コースは、滝沢市の柳沢コースが、他コースよりも短いのですか。

観光物産課長：その通りです。

記者：チャグチャグ馬コの完全復活（コロナ前の規模で）ということで、市長から率直なお気持ちを教えてください。

市長：コース（行進路）がすっかり以前のものに戻るということで、子どもから大人まで

たくさんの方に楽しんでいただきたいと思います。係留所での交流も楽しんでほしいです。鈴の音や装束などもたくさんの方に見ていただきたいと思います。当日の晴天を祈るばかりですが、地元の方だけでなく、世界中の方から愛されるチャグチャグ馬コになっていけばと思います。

ブルトン種はサラブレッドよりも体が大きく、人間の暮らしの最も近いところにいた馬ではないかと思っていますので、迫力と鈴の音、それら感じられるようなお祭りになればと思います。

6 その他記者からの当日質問
特になし